

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童通所支援事業所 ほけっと					公表日	令和7年1月29日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		環境的に個別支援が必要な方に個室対応を行っています。	利用定員の人数に十分なスペース、また個別対応も可能な個室数を確保できています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	基準を満たし、尚且つ加算対象となる資格要件や経験も豊富な手厚い人員配置を行っています。	今後も手厚い人員配置が維持出来るようにしてまいります。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	各部屋に利用児の顔写真を掲示し、使用する部屋を示しています。また、その日のスケジュールや送迎車、選べる玩具カードなど、視覚的にも分かりやすく工夫しています。	引き続き環境整備に努めます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	利用後に毎回清掃を行っています。また、重度心身障害の方にものびのびとくつろげるスペースを提供しています。	引き続き環境整備に努めます。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		個別対応が可能な個室数を確保をし、使用していただいています。	引き続き環境整備に努めます。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		毎日のミーティングに加え、月1回事業所会議を実施し、態度、状況の把握と必要な改善を行っています。	引き続き尽力してまいります。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者向けの評価を実施、その評価を基に職員で改善検討会議を設けています。	保護者の意見に今後も真摯に向き合っておりまいります。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎日のミーティングに加え、月1回事業所会議を実施し、態度、状況の把握と必要な改善を行っています。	日々、必要な業務改善を行ってまいります。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		見学等のお受け入れをし、ご意見を参考にしています。	必要に応じて業務改善を行ってまいります。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		虐待防止研修、介護技術研修の他、機関コンサルテーションによる利用者の事例研修を行っています。	今後も研修による振り返りを行い、支援の共有や改善に繋げてまいります。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		5領域「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」に基づいて職員が意見を出し合い、尚且つ事業所の特色を生かしたプログラムを作成、公表しています。	定期的に見直しを行い、適切な支援プログラムとなるようにします。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか。	7		個々のこどもの状況の把握だけでなく、抱えている課題や潜在的な部分まで掘り下げて情報収集し、適切なアセスメントに努めています。客観的情報と主観的情報に基づき、分析した上で計画を作成しています。	今後も適切なアセスメントや計画作成に努めます。		
	13	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		計画を作成時にチームでモニタリングを行い、ニーズを抽出して計画を作成しています。	今後も最善の利益を考慮した検討を行います。		
	14	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		個々の計画を職員間で閲覧できるようにし、計画に沿った支援に取り組んでいます。また、計画が変更になった際の支援の共有、確認をミーティングや定例会議で行っています。	引き続き、職員間での計画の共有をし、計画に沿った支援を行ってまいります。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		フォーマルなアセスメントに加え、ケース記録や日々のミーティングでの情報は、インフォーマルなアセスメントとして確認しています。	引き続き、日々の行動観察を意識したアセスメントを使用し、確認致します。		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		ガイドラインのねらいや支援内容を踏まえながら、適切な支援の項目、具体的な支援内容の設定に努めています。	今後もガイドラインを意識して取り組んでまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		チームで意見を出し合い、5領域「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」に基づいたプログラムを立案し、作成しています。	今後もプログラムのチームで意見を出し合い、共有してまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		月ごとに季節や行事を取り入れた活動を計画し、内容をえて活動に変化を持たせています。	今後も活動の内容にバリエーションを持たせるよう配慮します。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	7		個別を意識して、個別活動（ワーク・自由遊びなど）と集団活動（運動遊び・ミュージックケアなど）を組み合わせた計画を作成し、支援を行っています。	引き続き状況に応じて計画の作成、支援を行っています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎回必ずミーティングを行い、前日までの支援の振り返りや当日の業務確認、支援内容の確認を行っています。	今後もチームで連携して支援を行ってまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		支援終了後、及び翌日の支援前ミーティングにて支援の振り返りや気づきを共有しています。	今後もミーティングにて振り返りや気づきを共有し、支援の統一を図ります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		1人ひとりの個別目標に沿った日々の記録を行い、ミーティングにて支援の検証をして改善に繋がっています。	今後も丁寧に記録をとり、支援の検証・改善に繋がります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		半年ごと（または必要時）にモニタリングを行い、見直しの必要性を判断した上で、ニーズを抽出して適切な見直しを行っています。	引き続き取り組んでまいります。
	24	【放デイのみ】 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	7		「4つの基本活動」に基づいて、バランスよく複数組み合わせる活動を提供し、支援を行っています。	引き続きガイドラインを意識した支援に取り組めます。
25	【放デイのみ】 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		言語でのコミュニケーションがとりにくい場合には、絵や写真などで自己選択できるように工夫しています。また、自己選択の機会を増やし、自己決定ができる力を育てる支援を行っています。	引き続き取り組んでまいります。	
関係機関や保護者と	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		支援にも積極的に関わっている児童発達管理責任者が参画しています。	今後も利用児にかかわり、実際の状況をよく周知してまいります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		豊岡市障害者自立支援協議会に参画し、こども部会員として市、教育、福祉、と連携の体制を整えています。	今後も連携を図ってまいります。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	1	サービス担当者会議等で児童発達支援センターとの連携を図っています。	今後も連携を図ってまいります。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	感染症流行下のため感染の懸念もあり、積極的な交流を計画していません。	今後の交流については状況を見ながら検討いたします。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		日々の状況は連絡帳を通じて、また送迎時に情報共有しています。6か月毎のモニタリング会議では共通理解を図っていますが、必要に応じて随時相談対応も行っていきます。	今後も連携を図ってまいります。
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	今年度は、保護者懇談会を1月23日に実施いたします。	今後も機会を設けてまいります。
	32	【児発事業所・児発センターのみ】 併用利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		今年度は対象利用児がいりません。それら取り組みの重要性を強く認識しており、対象利用児があれば、積極的に行ってまいります。	今年度は放課後等デイサービスの対象児童が利用待ちの状態であり、利用定員数の関係から児童発達支援対象児の利用受け入れが難しく、今後、状況に合わせて受け入れ調整をしてまいります。
33	【児発事業所・児発センターのみ】 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		今年度は対象利用児がいりません。それら取り組みの重要性を強く認識しており、対象利用児があれば、積極的に行ってまいります。	今年度は放課後等デイサービスの対象児童が利用待ちの状態であり、利用定員数の関係から児童発達支援対象児の利用受け入れが難しく、今後、状況に合わせて受け入れ調整をしてまいります。	

の連携	34	【 児発センターのみ 】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	35	【 児発センターのみ 】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	36	【 児発センターのみ 】(自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	37	【 放デイのみ 】学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	7		学校に連携いただいて、行事や送迎の時間の確認はもちろんのこと、その日の利用児の様子や体調についてもしっかりと情報共有を行っています。	今後も引き続き情報共有を行ってまいります。
	38	【 放デイのみ 】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		必要な連携について積極的に行っています。情報共有を行い、支援に役立てて、より一層の成長へと繋がるようにしています。	今後も引き続き情報共有、相互理解に努めてまいります。
	39	【 放デイのみ 】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		積極的に情報提供に努めています。	今後も引き続き情報提供を行ってまいります。
	40	【 放デイのみ 】(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	7		豊岡市障害者自立支援協議会に参画し、こども部会員として市、教育、福祉、と連携の体制を整えています。	今後も連携を図り、多角的に子どもの育ちの環境について考えてまいります。
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		重要事項説明書に明記し、契約時に説明をさせていただいています。	引き続き、丁寧に対応します。
	42	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		計画更新時には、モニタリングを実施し意向確認を行い、利用児や保護者の意向を反映した計画となるようにしています。	今後も意向確認を行うとともに、利用児、保護者の意思の尊重、利益の優先の考慮をしております。
	43	「児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		計画更新時には、作成した計画の説明を行い、内容を確認していただき同意を得ています。	引き続き、丁寧な説明を行ったうえで同意を得られるようにします。
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		モニタリング時はもちろんのこと、ご相談があった際には助言等、対応させていただいています。	今後も、丁寧に対応してまいります。
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		1/23に保護者会を実施し、懇談会等にて交流を深めていただくようにしています。また、園祭(ぼかぼかフェスティバル)を開催し、兄弟、家族の方にも参加いただいています。	今後も保護者会、園祭等を実施してまいります。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		相談窓口、相談者を設け、重要事項説明書に明記し、契約時に説明をさせていただいています。	引き続き、丁寧に対応します。
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		利用時に写真と文章で活動の様子をお知らせし、毎月の行事予定他、必要な情報発信を行っています。	機関誌やホームページ等の充実を図り、情報提供に努めます。
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報の取り扱いについては事前に承諾を得て、十分に留意をしています。	今後も十分に留意してまいります。
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		保護者と意思疎通や情報伝達の方法について共有し、1人ひとりに合ったコミュニケーションを図りました。	今後も、1人ひとりに合ったコミュニケーション方法に配慮してまいります。
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		地域の文化展に、利用児の作品を保護者の承諾を得た上で出展しました。	今後も、地域に開かれた事業運営を模索してまいります。
	51	【 放デイのみ 】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		保護者から相談があった場合、また必要と思われる場合に対応をし、助言等を行いました。	今後も引き続き対応してまいります。
	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		各種マニュアルを整備し、いつでも閲覧可能な場所に保管しています。マニュアルに基づき対応、訓練を実施しています。	引き続き、実施してまいります。
	53	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		業務継続計画(BCP)を策定し、それを基に、定期的に非常災害を想定した避難訓練を実施しました。	引き続き、実施し災害に備えてまいります。
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		利用開始時に保護者から詳細に聞き取りを行い、服薬や発作がある利用児の情報を、職員間で周知、確認をしました。	状況を周知し、確実な対応をしております。

非常時等の対応	55	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1		今年度は該当する利用児がありませんでした。基本は、ご家庭から持参される昼食、おやつを摂取していただいています。	該当利用児がある場合、クッキングの活動等を行う際には、医師の指示に基づく対応を行います。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画を基に、消防設備点検・感染症自主点検・環境整備等、安全管理に必要な点検と訓練を行いました。また、送迎車に降り忘れ防止装置を設置し、職員で研修、訓練を行いました。	今後も、安全を第一に考え、研修や訓練を実施するなど、安全管理を徹底してまいります。
	57	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		安全計画を作成し、保護者へ計画について説明する機会を設けました。	安心して利用していただけるよう、今後も連絡帳や対面、必要時は電話連絡を行い、保護者の方々との情報共有に努めてまいります。
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		職員間でヒヤリハット事案を共有、検証を行い、再発防止に努めました。	怪我や事故が発生した場合には、速やかに連絡をし、状況等について説明を行います。
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		虐待防止についての研修を受ける他、管理職・リーダーにおいて、虐待を起こさない土壌づくりに向け、事故・虐待・不適切行動に向けた取組強化にかかる意見交換会を実施しました。	今後も、研修の機会を確保し、日々の支援の振り返りを行いながら、虐待防止に努めてまいります。
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		やむを得ず行動制限・身体拘束を行う時間と理由について職員間で検討・周知し、保護者へ行動制限・身体拘束に関する説明書・実施同意書を基に説明を行い、個別支援計画に記載し同意をいただいております。	引き続き、行動制限・身体拘束の解除に向け、対応してまいります。